

## 平成 30 年 9 月 定例教育委員会 議事録

日 時 平成 30 年 9 月 28 日 (金) 開会 16 時 58 分  
閉会 18 時 35 分

場 所 レセプションホール

出席者 教育長 寺岡 悌二  
教育委員 福島 知克 教育委員 (教育長職務代理者)  
高橋 護 教育委員  
小野 和枝 教育委員  
山本 隆正 教育委員  
議事録署名委員 山本 隆正 教育委員

教育庁 稲尾 隆 教育参事  
高橋 修司 教育次長兼社会教育課長  
月輪 利生 教育政策課長  
姫野 悟 学校教育課長  
花木 敏寿 スポーツ健康課長  
藤田 一樹 教育政策課参事  
亀川 義徳 学校教育課参事兼総合教育センター所長  
利光 聡典 社会教育課参事  
塩地 美千代 人権同和教育啓発課参事兼学校教育課参事  
加藤 ひろみ 教育政策課課長補佐  
志賀 貴代美 教育政策課課長補佐兼指導主事

傍聴人 0名 (職員研修 13名)

議事日程 第1 議事録署名委員の指名について  
第2 平成 30 年度「21 世紀を担う別府っ子表彰」被表彰候補者の選考  
について【議第 42 号】

報告事項 (1) 平成 30 年第 3 回市議会定例会について【報告第 18 号】

その他 (1) 別府市北部地区公民館なでしこ分館について  
(2) 第 71 回大分県民体育大会の結果報告について  
(3) 10 月定例教育委員会の開催日程について

# 議 事 録

## ◎ 開 会

**寺岡教育長** ただいまより平成 30 年 9 月の定例教育委員会を開会いたします。

---

## ◎ 議事録署名委員の指名について

**寺岡教育長** 議事日程第 1、議事録署名委員について、本日は山本委員さんをお願いします。

---

## ◎ 平成 30 年度「21 世紀を担う別府っ子表彰」被表彰候補者の選考について

**寺岡教育長** 次に議事日程第 2、議第 42 号 平成 30 年度「21 世紀を担う別府っ子表彰」被表彰候補者の選考についてでございます。この件につきまして、提案理由の説明をお願いします。

**教育次長兼社会教育課長** 議事日程第 2、議第 42 号 平成 30 年度「21 世紀を担う別府っ子表彰」被表彰候補者について、別府市教育委員会所管事務委任規則第 3 条の規定により議決を求めるものでございます。

まずこの表彰の実施要項でございます。趣旨としましては、この表彰は、地域活動やボランティア活動などに積極的に取り組んでいる青少年や青少年の健全育成に貢献している指導者、団体を発掘して顕彰し、その功績を称え激励するとともに、今後の青少年健全育成の振興に資することを目的としています。表彰の日時と場所は、11 月 13 日火曜日、16 時から 17 時となっております。会場につきましては、レセプションホールでございます。

被表彰候補者につきましては、5 ページから掲載しております。はじめに、青少年の部、個人 1 名です。別府市子ども会育成会連合会の池辺会長より、青山中学校 3 年の小野颯音さんを推薦いただいております。小野さんは、別府市子ども会育成会連合会の募集するジュニア・リーダーに入会し、クラブの研修・地区行事に参加し、市子連・県子連をはじめ各種事業の要請に対し積極的に協力し、自己の研鑽に努めています。また、クラブの発展及び各種行事に対する取組は、他の会員の模範であり、後輩会員の指導助言に努め、クラブ員から信頼され高く評価されています。特筆する点としましては、学業・茶道部の活動を怠ることなく、大分県青少年団体連絡協議会の募集する「大分県少年の船」の副班長としての乗船経験、九州地区子ども会ジュニア・リーダー大会等も積極的に

参加するなど、特に優れているということで、推薦をいただいております。

続きまして6ページ、青少年の部、団体は3団体でございます。まずはじめに、山の手中学校の重岡校長から推薦をいただきました山の手中学校の環境委員会です。生徒会の環境委員会が地域に貢献する様々な活動に取り組んでおりまして、校区内の清掃活動や、障がい者就労施設へのタオル寄贈などを行っており、地域活動に積極的に取り組む姿勢が推薦に値するということです。

それから下の段です。大分県立別府翔青高等学校校長より大分県立別府翔青高等学校吹奏楽部の推薦をいただいております。別府翔青高等学校の吹奏楽部は、文武両道をモットーに日々研鑽を重ね、各種コンクールで上位入賞を果たしてきました。また、地域活動やボランティア活動として様々な行事に積極的に取組、地域の活性化や青少年の健全育成に貢献をしているということで推薦をいただいております。

次に7ページをご覧くださいと思います。別府溝部学園高等学校の校長より推薦をいただきました別府溝部学園高等学校調理部です。2011年度より地域貢献の取組として、高校生レストランを開始し、地域に向けての食事の提供をしております。地域貢献、地域活性化を意識した活動を継続的に行っており、推薦に値するということで推薦をいただいております。具体的には、その下に、いろんなところでの食事の提供、イベントでのジビエ料理などの創意工夫活動等を行っているということです。

それから8ページをご覧ください。亀川小学校の校長より、亀川浜田町の八垣禎子さんを推薦いただいております。この方は、平成2年より29年間、亀川小学校における野菜作りの授業で、野菜を育成し、また野菜の育成のための種の植え方や収穫の仕方を子どもたちに指導していただいております。また、登下校の安全指導も担っていただきまして、事故の未然防止にも貢献されているということで、表彰に値するということで推薦をいただきました。

下の段です。大平山校区の青少年育成協議会より、別府市小倉1組の安部八信さんを推薦いただいております。この方は、長年にわたり大平山校区青少年育成協議会の会長を務め、健全育成のために様々な活動を実施し、朝日大平山地区公民館の子ども講座においても、しめ縄作り等の指導を現在も継続して行っているということで推薦いただいております。

次に9ページですが、中部中学校の校長より、東荘園青壮年会合唱団を推薦いただいております。この合唱団は、平成24年度結成以来、市民文化祭や町内文化祭、中部地区公民館文化祭などで合唱発表を行い、地域貢献を果たしてきております。また、中部中学校の文化祭での合唱披露を行い、中学生と地域との交流にも貢献しているということで、町内での合唱団というのも非常に珍しいのではないかと考えております。

続きまして最後ですが、北部中学校の校長から推薦いただきました学校運営協議会の環境支援部です。この環境支援部は、平成25年度から6年間にわたり学校花壇の整備やあいさつ運動に積極的に取り組み、本校の

生徒の健全な成長に寄与しているということで推薦いただいております。以上の方々、団体について今回 21 世紀を担う別府っ子表彰で表彰したいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

**寺岡教育長** ただいま社会教育課長より 21 世紀を担う別府っ子表彰についての説明がございました。これより質疑を行います。教育委員の皆様、何かございますでしょうか。

**小野委員** ちょっと教えていただきたいのですが、青少年の部の個人で、別府市子ども会育成会連合会の募集するジュニア・リーダーというのはどういうものなんですか。ジュニア・リーダーに入会し、と書いてあるんですが。

**教育次長兼社会教育課長** この別府市子ども会育成会連合会の中で、ジュニア・リーダーという部門がありまして、そのリーダーで、青少年の船だとかですね、そういうところでの活動のリーダーシップをとって、いろいろな活動の中でリーダーとして活動するという役職がございます。

**小野委員** 何人ぐらいいるんですか。ジュニア・リーダーは。

**寺岡教育長** 年度によって違いますが、かなりいます。子ども会によって。

**小野委員** 全体の中でジュニア・リーダーが何人かいるわけですね。

**教育次長兼社会教育課長** 各子ども会育成会が町内ごとの組織でありまして、その中で、その町でリーダーという役目の子どもたちがおりますので、うろ覚えで申し訳ないんですが、20、30 名ぐらいのリーダーがおります。

**小野委員** わかりました。

**寺岡教育長** 子ども会で活動した方が卒業して、お世話をしてくださっているということです。  
その他何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。  
他に質疑もないようでございますので、以上で質疑を打ち切り、議第 42 号は原案に対し議決することにご異議ございませんか。

※異議なし

**寺岡教育長** ご異議もないようですので、議第 42 号は議決することに決定いたしました。

---

## ◎ 報告事項（1）

**寺岡教育長** 次に報告第18号 平成30年第3回市議会定例会についてでございます。  
この件につきまして説明をお願いいたします。

※ 別冊資料に基づき、各担当課長より一般質問にかかる質疑応答の概要をそれぞれ報告した。

**寺岡教育長** ただいま平成30年第3回市議会定例会の一般質問の概要につきまして、各課長より説明がございました。これより質疑を行います。教育委員の皆様、何かございますでしょうか。

**高橋委員** 私から2点、お尋ねではないのですが、1点目は別府市が、教育委員会がやっている奨学金の制度でございます。今年度から保育士さんということで、一番最初的时候は、大学を出て別府に戻って教員に限るという条件がありました。それだけでいいのかということで、それが撤廃されて、広く大学生の希望される方々にも枠を広げようという形ができて、今回保育士さんということで、私はこれはよろしいかなと、別府市が抱えている課題に対しての取組のひとつですから、これは評価できると思うんです。ただ議員さんたちの思いから、なんで保育士に限定するのかというご意見が出るのもまた分かります。これは柔軟に対応していくというお答えをなさっていただいたんですが、私は、基本はあとは財源だと、その財源をどのように市長部局なりに教育委員会としての意見を届けていくのか。議員さんの枠を広げろという考え方も分かるんですが、財源も、どうぞひとつ確保をしていただきたいという要望はし続けていかなきゃならないんじゃないかなということが1点目です。

それから、愛パトなんですが、私も毎年亀川校区のほうで参加しております。一番最初の愛パトと、確かに内容が変わってきました。いわゆる通学路の安全点検というところに重きを置かれてしまったような感じがします。ただこれは、子どもの登下校時の安全安心というものが前提ですから、それは大事なことだろうと思うんですが、青少年の健全育成という当初の目的からは少し離れてきた、それも各中学校区と言いますか、各小学校区で全部中身が違って来たような気がするんです。今年は特に酷暑と言いますか、暑い夏ですから、実際のパトロールができなかったところが多かった。ただ協議会というところでお話し合いというところに留まった感じがいたしますので、各議員さんからご指摘いただいた、ぼちぼち中身を検討する時期に来ていることは確かではないかなと。実際、趣旨が分からないというわけではないのですが、参加した人の中には「こんなときに歩いても誰も子どもがいないじゃないか。何のためにするのか。」というような声が出るんですよ。そういうふうには、子どもがいなくともパトロールの旗を立てて、歩いている姿が何らかの防犯と言いますか、そういうものにも繋がるだろうし、子どもたちも大人の皆さん、地域の皆さんがこうやって頑張ってくれている、ということも何らかの地域の力になっていくと思いますから、私はやはり継続すべきことだろうと思うんですが、おっしゃっていただいたように、子どもたちの環境が変わってきましたので、先程出てきましたいわゆる講演会みたい

なことでネット犯罪の防止とかですね、そういうことも必要な時代が来ているということはひとつ申し上げておきたいなという思いで述べさせていただきます。以上です。

**学校教育課長** 貴重なご意見ありがとうございます。まず1点目の大学の奨学金ですが、財源確保が本当に切実な行政上の課題です。ひとつは貸与ですので、基本的には返ってくるということが前提となりつつも、まあ別府市に住んでいただければ、住民税その他消費活動をしていただけますので、それなりの実入りが別府市にはあると。それから保育士になれば課題の解決にもなるということで、比較的これは財政当局の理解も得やすいシステムではないかなと思います。今後、人数を増やしていくとか、人数を増やすことに従って職種も増やすということを考えていく上では、貸与とはいえ免除していくわけですから、実績を見ながらですね、財政当局に働きかけをしっかりとしていきたいと思います。

それから2点目の愛帕特ですが、コミュニティ・スクールが入ってきて学校の機能が多様化する中で、CSを中心とした様々な取組が展開されるようになりました。昔と状況が変わってきました。そうした中で、愛帕特との趣旨の重なりとかということがやっぱり出てきているのが現実だろうと思います。考え方としては2通りの道があると思っていて、ひとつはCSの中の全体的な枠組みの中に入ってしまって、そしていろんな活動に、パートに分かれてやっていくという方法論と、ひとつひとつの点検を今度はスリム化して、機能を明確化して、愛帕特は通学路の安全点検みたいなことはやらない、非行防止と防犯に特化していきますと。そして通学路の安全については、どこか別のところでそれに特化した活動をしていきますと。ですから、組織をそれぞれ明確にしていくという方法論になると思います。私としましては、委員さんおっしゃったように、最初の段階に戻っていくほうがいいのではないかと考えていますが、それがいいのかどうかも含めて、検討していきたいと思っています。

**福島委員** フッ化物洗口が始まって3年、あれから3年経ったということにびっくりしましたが、そのときにですね、我々は絶対効果があると思ってしたんですが、結果は、する前としたあとで、健康診断でむし歯の数が減ったとか増えたとか、その辺がちょっと知りたいんですけど、どうなったんですかね。

**スポーツ健康課長** 別府市全体としては、県内ではむし歯の本数は少ないほうであります。若干、年によって本数が上がったり下がったりはするんですが、全体的に見たら少なくともいい方向にいつているのかなという思いは持っております。

**福島委員** それともうひとつ、洋式化するのは時代の流れでいいことだと思いますけど、インフルエンザとかになると、接触感染か唾感染なんですよ。便座は、勝手に子どもたちに消毒させることになるか、ちゃんと指導す

るのか、どうなったんですかね。

**教育政策課長** 学校現場のトイレの便座でございますか。学校でのトイレの掃除は生徒がやっておりますので。

**福島委員** いや、新しく洋式化したときに、皆さん便座に座るわけですよね。そうすると、インフルエンザが流行っている時期なんかは、もっと流行りやすくなるような感じがするんですけど、ちゃんとした指導をするのか、それとも消毒液をちゃんと置いておくのかということまでやっておかないと、流行ったあとに慌ててやるとなると、後手後手に回るような感じがしますから、何かきちんとした指導をしておいたほうがいいと思えますね。

**教育政策課長** これから洋式化におきまして洋便器が増えてまいりますので、それに伴ってそういった流行時期の対策をまたこちらのほうで考えて、学校に指導していきたいと思っております。

**寺岡教育長** その他、よろしいですか。

**山本委員** 奨学金についての質問が結構あがってしまっていて、その要望として他職種にというような話ですが、先月の話だと、例えば教員とかだと採用が県になって、必ずしも別府で勤務できないという話があったと思うんですが、拡大するとした場合にどういう職種が、教育だけに限らなくてもいいのかもしれませんが、例えばどういう職種あたりが検討されているのか、候補に挙がってくるのか教えていただきたいのですが。

**学校教育課長** 拡大するという段階に入ったときには、実はそれに備えて少しいろんな方からご意見は聞いているんですが、実は幼稚園も私立幼稚園も、最近の若い方たちは、大学を卒業したあと保育所のほうに行きたがる傾向がある、これは私意外だったんですけど、だからむしろ幼稚園のほうが切実なんですよという声を大学関係者から伺っておりますので、教育委員会でもありますし、幼稚園の、私立幼稚園の先生の確保を考えないといけないなと思っておりますし、実際看護師さんも足りていないんじゃないかな、不足しがちだという話は医療関係の方からも伺っておりますし、議会からも言われておりますので、そういった声を集めながらですね、幅広に考えていきたいと思えます。今の段階で、まだ始めたばかりですので、保育士で一生懸命やっていきたいと思っておりますが、将来的には考えます。

**教育参事** 基本的に今学校教育課長が言ったとおりなんですけど、今回はひとつ戦略的な視点で、別府市が敢えて大分県内でもまだやっていない、例がない保育士さんという職種に絞って、そして少子化対策もやっていきますという、そういうメッセージを送ったわけなんですけど、ただ、今後市長部局ともよく協議していかないといけないんですが、今、全国的には、

やはりその町で生まれ育った人が、外に行っているいろんな知識を吸収します。そういった人材が、やがてまた地元に戻ってくる、そういった人材が一番町の活性化に寄与すると言われていたわけですね。そういった制度をつくっている自治体が増えていきますので、私は最終的には、職種を絞るというよりも、やはりそういった幅広く人材が別府市に戻ってきて、地域の活性化に貢献するという意味合いにおいては、最終的にはそこまで間口を広げてもいいのかなと思っておりまして、これは決定事項ではありませんが、今後市長部局とも地方創生総合戦略の中でしっかり話し合っていきたいと思っております。

**寺岡教育長** よろしいでしょうか。では他に質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切りたいと思います。

---

## ◎ その他（１）

**寺岡教育長** 次にその他の項に入ります。（１）別府市北部地区公民館なでしこ分館についてでございます。説明をお願いいたします。

**教育次長兼社会教育課長** 資料には別府海浜砂湯の改修事業の敷地図というものを挙げております。併せまして、追加でなでしこ分館についてという事業概要と経過ということで、資料を一部追加させていただいております。

これは、北部地区公民館なでしこ分館は、平成 29 年 3 月に策定しました別府市公共施設再編計画で、耐震化未対応で、老朽化、立地条件等の問題から、このなでしこ分館を廃止し、本館の整備または移転・複合化の方向性を早急に決定するという方向性を打ち出しております。教育委員会としましても、このなでしこ分館の廃止につきまして、利用者の状況を分析しながら、その時期について今検討しているところでございますが、この別府海浜砂湯の拡張事業が、なでしこ分館の廃止に影響するということでご報告させていただきたいと思っております。この地図なんですが、基本的には、最初はこの地図の真ん中の楕円の部分の旧別府市美術館ですね、今回解体の補正が承認されましたこの部分で、ということであったんですが、この砂湯は、近年の利用者の増加に伴いまして、繁忙期には最大 3 時間の待ち時間が発生し、また駐車場の利便性や満足度を高めることが求められている状況です。この状況を踏まえまして、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」、PFI ですね、この PFI 法を適用し、効率的かつ効果的な事業実施を図るということでスタートしております。当初、この美術館跡地を対象エリアとしておりましたが、これは温泉課のほうで事業を進めておりますが、本事業が PFI 法を適用するという方針で、市の持ち出し事業費が 0 円で、建設費や運営費をすべて民間がですね、事業者の負担でやりたいということで事業者とコンタクトを取っていたところ、「美術館跡地だけでは収益が見込めずに、参加できない。公園全体を利用すれば収益が見込め



る」という意見を受け、最終的に、この地図で言うと大きな太枠の部分まで全体的に開発するほうが良いというような結論に達したようでございます。そうすると、この図の右上の四角の部分の北部地区公民館なでしこ分館も、附帯施設の整備エリアに入ってくるということで、ここまで整備をするということになると、このなでしこ分館を解体して整備をするということになります。今後のスケジュールですが、平成30年度は業者の意見を元に、公園全体に事業対象エリアを広げて、業者の募集の準備を今進めております。ただし、まだホームページにこの募集の案という形で出ておりますので、具体的に何年度までということは確定しておりませんが、見込みで、平成31年度に業者を決定し、事業者による設計・工事着手をし、なでしこ分館は来年度、31年度末までは利用できますが、それ以降は利用できなくなり、32年度になでしこ分館を解体するというような計画があがっております。ただこれにつきましては、PFI法を適用するという方針でありますので、公共事業とは違いまして、事業者の提案によっていろんな開発が変わってきますので、事業規模等がまだ決まっております。完成のイメージがなかなか見えにくい状況になっておりまして、計画年度につきましても、若干ずれる可能性があるということではございます。ただし、ホームページでこのように案という形で出ておりますので、なでしこ分館の利用者等は、解体されるんだなということではいろんな不安も出ておりますので、その辺のところは、来年度以降、また十分利用者にはこの状況を説明して、代替りの施設を案内するなどしていきたいと考えているところでございます。以上ご報告です。

**寺岡教育長** ただいま社会教育課長より説明がございました。教育委員の皆様、何か質疑等ございますでしょうか。

**高橋委員** 以前教育委員会で、このなでしこ分館について議論がありました。まあ、やむを得ないかなという思いもあるんですが、どうぞひとつ、今利用していただいている料理教室、あるいは刺繍あたりの利用していただいている方々のご意見も十分に伺いながら、やはり代替地というものを早く提供できるようにということでございます。ひとつは、別府方面から来ますと、上人ヶ浜の入口は右折が本来は禁止なんですね。それで分館のほうから出てきて10号線に入ると、今度は亀川方面への右折が禁止なんですよ。両方とも右折同士なんです。だから非常に使い前が悪いというふうなことは以前から言われていたので、まあ使いづらいというのもひとつはあるんですけど、でも林があつて、非常に環境の恵まれたところに建っている分館ですから、利用者も多いと思ひまして、どうぞ今の利用者の方々のご意見をやっぱり大事にいただきながら、早く代替地が提供できるようなことをお考えいただきたいと思ひます。

**教育次長兼社会教育課長** 今、高橋委員さんから貴重なご意見をいただきました。我々としても同じ考えでございます。今の利用者が困らないように、1年間くらい周知の期間もありますし、その中で、特に人気の高いお菓子作りとか調理教

室ですね、調理教室の関係の人については、代替の施設の提供等、十分にやっていきたいと考えております。

**寺岡教育長** その他ございませんでしょうか。それでは他に質疑等もないようでございますので質疑を打ち切ります。

---

## ◎ その他（２）

**【概要】** ※スポーツ健康課長より、第 71 回大分県民体育大会の結果報告について説明した。

**寺岡教育長** 本年度も第 2 位をキープしたということでございますが、何か質疑等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では他に質疑等もないようでございますので、その他各課のほうから何かありましたらお願いいたします。

**【概要】** ※社会教育課長より、おおいた教育の日推進大会についての案内があった。

**【概要】** ※学校教育課長より、別府市教育祭と、別府市教育実践研究発表事業にかかる公開研究発表会についての案内があった。

**【概要】** ※スポーツ健康課長より、小学校運動会について、台風のため日程変更になった旨の報告があった。

---

## ◎ その他（３）

**【概要】** ※平成 30 年 10 月定例教育委員会の開催日程について、平成 30 年 10 月 26 日（金）17：00 より開催することが決まった。

---

**寺岡教育長** ここで、教育長就任につきましてご報告をさせていただきます。昨日の 9 月の定例市議会におきまして、市長からの教育長任命に対しまして、議会の皆様から同意をいただきました。また、委員の皆様、執行部の事務局の皆さんには、子どもたちを第一に考えて教育行政に努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ厳しく、また暖かくご指導をいただければと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

---

◎ 閉会

**寺岡教育長** これで、全ての日程を終了いたします。以上を持ちまして、平成 30 年 9 月定例教育委員会を閉会いたします。本日はお疲れさまでした。

- 
- ・発言の内容について、単純ミスと思われる字句、重複した言葉づかい等を整理の上作成しています。